

組織現勢 (10月1日現在)

組合員数	19,671人
出資口数	90,643口
9月の新規加入	24人
9月の増資口数	209口

No. 376 再生紙を使用しています。

城南の保健

発行所
城南保健生活協同組合
本部事務局 大田区大森東4-6-15-101
TEL (3762) 0266
振込銀行 さわか信用金庫大森支店
口座(普) 0469459
発行 「城南の保健」編集委員会
毎月1回発行・定価1部 30円



3年連続仲間増やし目標達成のために

「誰かが人問らしく尊敬ある人生を送れるようにするには、



講演する土居さん

仲間増やし月間成功へ向け 組合員と職員の活動交流会開催

基調講演

9月27日(土)、6回目となる『城南3法人生活協同組合員活動と医療・介護活動交流会』を開催しました。今年の会場は大田区消費者生活センターで7演題の発表がありました。この演題ももっと多くの人に聞いてほしい。「班会やボランティアの様

「地域包括ケアシステムと 私たちがやるべきこと」

子が具体的によかった」「3法人が手を取り合ってこれからの地域包括ケアシステムをあるべき姿にしていきたい」などの感想が寄せられました。こうした組合員と職員の交流を通して、共同の営みを広げ、安心して住み続けられるまちづくりをさらに広げていきたいと思います。

「誰かが人問らしく尊敬ある人生を送れるようにするには、



地域活動の発表も (戸張さん・安斎さん)

今年度の活動交流会では基調講演として、城南福祉医療協会介護事業部長の土居恵孝さんに「地域包括ケアシステム」についてお話しいただきました。(以下要旨)

元氣な時から、住み慣れた地域で、今まで以上に人と人とのつながりがあるまちづくりが必要。「私たちはこれを地域包括ケアと呼ぶことにした」「個々の希望がかなえられるその人らしく選べる」(京都市民連地帯包括ケア宣言)

秋の健康バスハイクのご案内

『三保の松原とみかん狩り』

日程 11月30日(日)
参加費 大人7,500円 子ども5,000円 (小学生以下)
昼食・お土産つきです!
募集定員 90名 (バス2台) です。
申込締め切り 11月20日(土)
《旅程》 三保の松原 (散策・見学) ⇒ 日本平山頂 (昼食) ⇒ みかん狩り (清水) ⇒ 沼津 (買い物)
お申し込みは、生協本部 (3762-0266) まで



秋の仲間増やし月間

10月1日～12月27日

2014年度月間目標

仲間ふやし 630人 (年間目標の90%)

増資 100人以上の方に

大腸がん検査 450人

コムコム購読 10部

いつでも元氣購読 30部

城南3法人地域包括 ケアプロジェクト

- ① 地域包括ケア宣言チーム
- ② 認知症対策チーム
- ③ ひとり暮らし対策チーム
- ④ 24時間365日対策チーム
- ⑤ 地域包括ケアを担う人づくりチーム

腹八分

安倍内閣の改造がありました。新たに地方再生、女性活躍、こんなポストが新設されました。しかし、いずれもいかなる政策を押し進めるのかまことに不透明。だのに大手のマスコミの応援もあって内閣支持率は上昇。地方創生も女性活躍も省としては存在せず、大臣だけが閣僚に連なる不思議なポストです。かつて竹下内閣のとき、地方を元気づけようと各自治体に1億円ずつ振舞ったことがありました。潤っているからともらえない自治体もありました。しかし、その結果は活性化とはほど遠い無惨なものでした。日本の地方は、国民の食を保障し、自然環境を守り、そして都会の人びとに癒やしをもたらす役割を担い続けてきました。明治時代日本は工業立国をめざし、地方の軽視、さらに昭和30年代からの高度経済成長政策によって、地方の軽視はさらに進行を深めました。今こそ地方軽視の政策を改めるべきときなのに、それに逆行する事業が急浮上しています。リニア新幹線開業の問題です。JR東海が、品川から甲府・飯田・中津川を経て名古屋まで、約40分間でつなぐというものです。工費は約6兆円。地方創生とはまったく逆行する大都市と大都市を結び、土建会社、不動産会社等を潤すだけの住民に利益もたらさない、まさに国土破壊のムダな事業です。JR東海の事業ではあっても、その負担は利用者です。その巨大な工事費を地方活性に充てれば、日本の食料と自然の確保を保障できます。それが本場の地方創生です。